

石巻漁港 水産物流通機能高度化対策事業の概要

1. 計画の方針

産地市場機能の集約と漁船漁業構造改革プロジェクトと連携して、生産・流通の効率化、品質・衛生管理の高度化を図ることによる、産地間での競争力を高める。

2. 事業の概要

- 魚市場経営の省力化、効率化、さらに衛生管理の充実を図るため、わたのは渡波魚市場を石巻魚市場に統合し、衛生管理を充実させた新たな荷捌き所を新設する。

- 既存の荷捌き所について、衛生の高度化対策を図るとともに、漁船漁業構造改革プロジェクトと連携し水揚げの効率化等のための設備を整備する。

	○事業期間：H21～H25 ○事業主体：石巻市
事業内容	○荷捌き所新設 ○荷捌き所改良 ○鮮魚を中心とした衛生管理体制の強化 ・防鳥ネットの整備、硬質床への改修、車輛洗浄施設、自動選別機、フィッシュポンプ等の導入

水産物流通機能高度化対策事業 【特定第3種石巻漁港】

位置図



計画の内容

事業期間：H21～H25
事業主体：石巻市

事業内容

荷さばき所の新設
防鳥ネット、自動選別機
フィッシュポンプ等の導入
等

現状と課題

- * 石巻漁港は、金華山・三陸沖漁場の主に多獲性回遊資源であるイワシ、サバ、カツオ、サンマ等の水揚げ基地として発展してきた。
- * 平成19年の水揚量は13万3千トンで全国で第5位、水揚金額は208億円で第12位を占めているものの、水揚量は昭和62年の約40万トン、水揚金額は昭和57年の約330億円をピークとして以後、減少傾向にある。
- * 年間を通じて安定した取扱量の確保や広域流通の円滑化に向けて、消費者ニーズに即した衛生・品質管理の高度化など様々な要請に対し、渡波魚市場の統合を図ることで石巻魚市場の機能強化が期待されている。

計画の方針

産地市場機能の集約と漁船漁業構造改革プロジェクトと連携して、生産・流通の効率化、品質・衛生管理の高度化を図ることにより、産地間での競争力を高める。